

★乳幼児期（0～5歳）					
取組名（事業名）	内容（今年度の取組予定）		取組報告	今後の課題や方向性	担当課
出産前のパパママセミナー	妊娠5～7か月頃の妊婦に対して、歯科医師による歯科健診と歯科衛生士による講話を実施する。妊娠中の治療や歯の手入れのポイントを説明し、定期的な歯科健診を促す。	年6回	アンケートでは、参加者の3割が歯科健診を目的に参加をしたと回答。 予約制を継続し、9月からオンライン予約を開始した。52.8%がオンライン予約をしている。 歯周病検診（口腔健診）の無料クーポンの利用を促した。 62人参加。	令和3年度（2021年度）に比べ参加者が増加した。歯科健診を目的に参加する方も多い。 歯科健診の結果では、歯肉炎保有者が約3割、未処置歯保有者が約1割にみられた。	子育て支援課
すくすく広場	1歳児に対して、おやつの時間を決める、仕上げ磨きを毎日する等の基本的な生活習慣がむし歯予防につながることを伝える。	年12回	事前にアンケートで心配ごとを確認し、それに回答する形で実施した。 80人参加。	1歳児の入園が増加していることから参加者数が減少しているため、令和4年度（2022年度）で事業を終了する。今後は、子育て応援事業や保育園での歯科指導を丁寧に行う。	子育て支援課
2歳児子育てと歯科相談	RDテストを行い、1歳6か月児歯科健診時との比較をしながら、家庭での食習慣や歯磨きを含めた生活習慣を振り返るきっかけの場とする。参加者の増加を目指し、内容の見直しと、個別通知を行う。	年12回	対象者全員にフッ化物歯面塗布助成券とともに案内を郵送した。 助成券の利用を確認し、未使用の方には、利用を促した。 予約制で実施。 大雪の影響で1回中止となった。 11回 72人参加。	令和3年度（2021年度）に比べ参加者が減少した。 1歳6か月児歯科健診でRDテストのハイリスク者、発達面が要観察になったお子さんを中心に参加を促すような、支援につなげる必要がある。	子育て支援課
1歳6か月児歯科健診	歯科医師による講話及び健診を実施する。歯科衛生士が集団指導を行い、RDテストの実施、むし歯予防や仕上げみがきのポイントを伝える。	年24回	歯科医師による講話、RDテストを実施した。歯科衛生士が集団指導を行い、むし歯予防のポイントや定期受診の大切さ等を伝えている。未受診者に対して、受診勧奨の個別通知を行った。 大雪の影響で1回中止となった。 23回 383人参加。 受診率 94.8%。	令和3年度（2021年度）より受診率がわずかに増加したが、令和4年度（2022年度）の1歳6か月児内科健診受診率100%より低い状況がみられる。	子育て支援課

令和4年度（2022年度）歯科保健に関する事業報告

3歳児歯科健診	歯科医師による健診を実施する。歯科衛生士による個別指導で、むし歯予防のポイントを再確認する。	年 24 回	健診後の会場で、個別に歯科保健指導を行っている。デンタルフロスの配布、むし歯予防のポイントを再確認した。 罹患率及び一人平均むし歯数は年々減少している。 458人参加。受診率 97.4%。	令和3年度（2021年度）より受診率が減少した。引き続き、未受診者へ受診勧奨を行う。 むし歯は減少傾向だが、食習慣や歯みがき習慣の乱れが心配な方もいるので、個別指導で対応していく。	子育て支援課
フッ化物歯面塗布事業	1歳6か月児歯科健診及び3歳児健診で希望者に対して、フッ化物歯面塗布を行う。	年 24 回	希望者に対して、フッ化物歯面塗布を行った。 1歳6か月児 368人(受診者の96.1%) 3歳児 425人(受診者の92.8%)	フッ化物歯面塗布の希望者は、例年とほぼ同様だった。引き続き、安全に実施していく。	子育て支援課
フッ化物歯面塗布助成事業	かかりつけの歯科医を持ち、定期的な塗布を促すため、2歳児子育てと歯科相談の案内と一緒にフッ化物歯面塗布助成券を全員に郵送する。 高柳歯科診療所におけるフッ化物歯面塗布の実施。	一人 1 回	2歳児子育てと歯科相談の案内とともに、助成券を郵送し、助成券の利用を促した。 助成券利用数 153人。	助成券の利用数は令和3年度（2021年度）とほぼ同様であった。健診や相談の機会に利用を促し、定期的な塗布につなげる。	子育て支援課 国保医療課
子育て相談	相談の希望者に対して、随時、歯科衛生士による個別相談を行う。	随時	相談の希望者に、歯科衛生士による個別相談を行った。	相談電話や来館、個別相談で対応できている。今後も継続していく。	子育て支援課 健康推進課
子育て応援事業	子育てキラキラ講座の中で、歯科医師と歯科衛生士による講座を行う。 すくすくネットを通じて、子育てに関する動画をアップし、具体的に取り組む方法を紹介する。	随時	6/30 歯科医師による講座 歯に良い食事の10項目の紹介等、歯を健康に保つためのポイントと食事の大切さについての講話を行った。22組45人参加 10/26 歯科衛生士による講座 むし歯予防について実技を交えて仕上げ磨きのポイントを参加者に伝えた。18組35人参加 いずれも予約制で実施。	未就園の3歳以下の親子を対象とし、歯科保健啓発を今後も継続していく。	保育課 健康推進課

令和4年度（2022年度）歯科保健に関する事業報告

園歯科健康教育	園児を対象とした歯科健康教室を行う。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、保護者や親子を対象とする事業は実施しない。	各園 1～2回 年 30 回程度	保育園・認定こども園・幼稚園において、主に年長児を対象に歯科健康教育を行い、口腔ケアに対する意識の醸成を行った。また、おやつや昼食後に歯みがきを行い、園児の歯みがき習慣の定着を図った。28園 454人に対し実施。	保育園・認定こども園・幼稚園において、年長児を対象に歯科衛生士による歯科健康教育を行う。正しい歯みがき指導や、染め出しで自分の歯みがきの様子を確認する等、より効果的な指導方法を取り入れる。	保育課 健康推進課
園フッ化物洗口事業	園児のむし歯予防対策としてフッ化物洗口を実施する。	週 2 回	公立保育園 13 園、私立保育園 11 園で実施。希望者率は 98.1% フッ化物洗口を市内全ての保育園・認定こども園・幼稚園において実施出来るよう、園職員及び保護者への正しい情報の発信や意識啓発を行った。	保育園におけるフッ化物の適正な管理と洗口の適正な実施を継続していく。 引き続き、未実施の私立保育園に実施についての意向を確認し、検討してもらうよう働きかける。	保育課
よい歯の園・学校表彰	健康な歯と口は生涯にわたる健康づくりの基盤であることから、園児の歯科保健の一層の向上を図ることを目的に、むし歯の有病者率や歯科保健の取り組み状況等の審査基準により優秀園を表彰する。	年 1 回	市としてよい歯の学校・園の表彰を行った。 表彰式を予定していたが、大雪による影響で中止となった。 表彰園 7 園、歯科医師会長賞 1 園に表彰状と景品を配布した。	引き続き、表彰を実施し、歯科保健の取組を一層向上させるため、全市的な取組として継続していく。	保育課 学校教育課 健康推進課
歯科保健指導者研修会	幼・保・小・中・高の歯科保健担当者、歯科衛生士等を対象に歯科保健に関する研修会を実施する。また、活動の推進を図るため、関係者の情報共有の機会とする。	年 1 回	よい歯の表彰式と併せて、研修会を開催予定だったが、開催中止となった。	歯科保健活動や、歯や口の健康を入口とした生活習慣病予防の効果的な取組を関係者（幼・保・小・中・高の歯科保健担当者、歯科衛生士等）で共有し、実践に活かすための研修会として継続していく。	保育課 学校教育課 健康推進課
園歯科健康診査	園児のむし歯やかみ合わせ、疾病等のスクリーニングを行うために、年 2 回、全園児を対象に健診を行う。治療が必要な園児には受診を勧める。	年 2 回	6 月、11 月に全園児を対象に歯科健診を実施した。治療が必要な園児には受診勧奨をした。	年 2 回、全園児を対象に健診を実施する。治療が必要な園児には受診を勧める。	保育課

令和4年度（2022年度）歯科保健に関する事業報告

食に関する健康講話	主に年長児クラスを対象に、生活リズムや食事バランス、よく噛んで食べることについて等を園児が自ら考えられる内容で啓発する。また各保育園では、毎月、いい歯・食育の日の活動を実施する。	随時	公立保育園では、全園年長児へ栄養士による栄養バランスや朝食や野菜を食べることの大切さ、よく噛んで食べることの重要性等のテーマで食の健康講話を行った。各園では食育年間指導計画に基づき、保育士や調理員が紙芝居やクイズ・パネルシアター等で食育講話を実施した。	引き続き、公立保育園全年長児対象に例年同様に食に関する健康講話を実施する。よく噛むことで唾液がたくさん出ることとむし歯予防に絡めて啓発を行う。	保育課
給食だより	毎月の給食だよりに献立の紹介とともに、栄養面やよく噛んで食べることの効果や噛み応えのある献立を紹介する。	随時	給食だよりによく噛む献立の紹介、歯を丈夫にする食べ物や栄養面、よく噛んで食べることの効果等について取り入れた。	献立表を通して家庭へも啓発をする。	保育課
園だより	各保育園で発行する保育園だより等に、園児の歯みがき習慣やむし歯予防に関する記事を掲載する。	随時	望ましい食習慣や食事バランス等の大切さや肥満予防としてよく噛むことの効果、食と歯科保健に関する記事を掲載した。子どものみではなく、家族全体で取り組むことを併せて啓発した。	今後も継続して、様々な切り口から体の健康を保つための生活習慣に関する啓発記事を掲載する。園の要望も取り入れながら啓発内容を検討する。	保育課
保育園給食	月1回「いい歯・食育の日」の給食献立に大豆や根菜類を取り入れ、ゆでる固さや大きさを工夫し、噛み応えのある給食を実施する。併せて食育に関する啓発を行う。	随時	毎月18日頃に「いい歯・食育の日」の給食を実施し、大豆や根菜類等、噛み応えのある食材を使った給食の提供をした。6月には一週間、噛むことを意識した給食「食育・カミカミウィーク」を実施した。	引き続き、毎月18日頃に「いい歯・食育の日」の給食を実施し、大豆や根菜類等、噛み応えのある食材を使った給食の提供をする。6月には一週間、噛むことを意識した給食「食育・カミカミウィーク」を実施する。	保育課
甘味飲料講座	飲み物に含まれる糖分を目で見ってもらうことで、家庭でのむし歯予防の取組につなげてもらう。保育園等で、年長児を対象とするが、子どもから家庭へ持ち帰ってもらうように伝え、保護者の意識にも働きかける。	年3～5回	年長児に対して3園で講座を実施した。糖分量が園児にもわかりやすく伝えることができるため、事後アンケートでも甘味飲料の取り方が少なくなったとの回答が多かった。	直接保護者に対して働きかけることが出来ないが、園児を通じて家庭へ持ち帰ってもらうような講座内容とする。目で見ること、園児にも分かりやすい講座であることから、継続して園児を対象に講座を継続する。	健康推進課

令和4年度（2022年度）歯科保健に関する事業報告

★学童・思春期（6～19歳）					
取組名（事業名）	内容（今年度の取組予定）		取組報告	今後の課題や方向性	担当課
学齢期歯科保健支援事業	<p>児童・生徒や就学児保護者を対象に歯科衛生士によるむし歯予防指導、歯肉炎予防指導を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科健康教室 ・就学時保護者歯科保健支援事業 ・継続的歯科保健活動支援事業 	各学校 1～5回 年 70回程度	<p>むし歯予防・歯肉炎予防について、歯科衛生士による指導を実施した。</p> <p>「歯科健康教育」小学校 19校、中学校 11校で実施。</p> <p>「就学時保護者歯科保健支援事業」小学校 6校で実施。</p> <p>「継続的歯科保健活動支援事業」小学校 3校、中学校 1校で実施。</p>	<p>児童・生徒が健康づくりに取組、健康づくりを実践できる能力を育成するために、学校における健康課題や発達段階に応じた内容で指導を継続していく必要がある。</p>	学校教育課 健康推進課
学校フッ化物洗口事業	児童・生徒のむし歯予防対策としてフッ化物洗口を実施する。	週 1回	<p>小学校 20校、中学校 11校で実施。</p> <p>希望者率は小学校 97.6%、中学校 97.4%。</p>	<p>フッ化物の適正管理、フッ化物洗口の適正な実施によるむし歯予防を継続していくことが必要。</p>	学校教育課
よい歯の園・学校表彰	<p>健康な歯と口は生涯にわたる健康づくりの基盤であることから、児童・生徒の歯科保健の一層の向上を図ることを目的に、むし歯の有病者率や歯科保健の取り組み状況等の審査基準により優秀校を表彰する。</p>	年 1回	<p>市としてよい歯の学校・園の表彰を行った。</p> <p>表彰式を予定していたが、大雪による影響で中止となった。</p> <p>優秀校 2校、優良校 3校、努力校 5校に表彰状と景品を配付した。</p>	<p>歯科保健の取り組みを一層向上させるために、全市的な取り組みとして継続していく。</p>	保育課 学校教育課 健康推進課
歯科保健指導者研修会	<p>幼・保・小・中・高の歯科保健担当者、歯科衛生士等を対象に歯科保健に関する研修会を実施する。また、活動の推進を図るため、関係者の情報共有の機会とする。</p>	年 1回	<p>よい歯の表彰式と併せて、研修会を開催予定だったが、開催中止となった。</p>	<p>歯科保健活動や、歯や口の健康を入口とした生活習慣病予防の効果的な取組を関係者（幼・保・小・中・高の歯科保健担当者、歯科衛生士等）で共有し、実施に活かすための研修会として継続していく。</p>	保育課 学校教育課 健康推進課

令和4年度（2022年度）歯科保健に関する事業報告

学校歯科健康診査 （定期・就学時）	児童生徒の発達段階に即した歯及び顎口腔系器官の発育・発達を把握し、疾病等のスクリーニングをしながら、発達への影響や学習上及び学校生活に支障が生じていないか全児童生徒を対象に健診を実施する。治療が必要な児童・生徒には受診を勧める。	年1回	定期健康診断を実施し、治療が必要な児童・生徒に受診勧奨を行った。また、保健だよりや給食だよりを活用し、早期発見・早期治療の必要性を保護者へ向けて普及啓発した。	全児童生徒を対象に健診を実施し、治療が必要な児童・生徒が受診して治療するように、保護者への働きかけが必要。	学校教育課
歯科保健に関する関係者懇談会	学校歯科健康診断に関する情報交換や、歯科保健の最新情報や健康課題解決のための知識を得る機会とする。	二年に1回	11月30日（水）に歯科医師会役員、市内小中高校の養護教諭、歯科衛生士の計49名が参加して実施した。歯科医師会役員の歯科保健講話とアンケートをふまえて質疑応答を実施。	歯科医師会から養護教諭と意見交換を行いたいと開始した事業であるが、養護教諭が歯科検診や保健指導に関する疑問点を確認して、内容を関係者で共有できる機会であり、歯科保健に関する最新の情報を得る機会として継続していく必要がある。次回は令和6年度（2024年度）に予定。	

★青壮年期（20～64歳）

取組名（事業名）	内容（今年度の取組予定）		取組報告	今後の課題	担当課
歯の健康展	市民の生涯にわたる口腔の健康を維持し、8020の達成に向けて、むし歯予防や歯周病予防などについての啓発を行い、家族で口腔の健康を考える機会とする。歯科医師による無料歯科健診・相談、無料フッ化物歯面塗布を実施する。新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため予約制で実施する。	年1回	6/26（日）に事前予約制で開催した。歯科医師による歯科健診を必須とし、希望者へフッ化物歯面塗布を行った。家族連れの参加が多く、子どもだけでなく保護者から歯科健診を受けていただく機会となった。 114組 338人が参加。うち146人にフッ化物歯面塗布を行った。	歯科健診を必須とすることで、青壮年期の歯科健診につながっている。家族でお口の健康づくりを考える機会とし、身体の健康づくりと併せて周知・啓発を行う場としていきたい。	健康推進課 子育て支援課 保育課 学校教育課
歯科健康相談	今年度から年5回の開催とし、どなたでも気軽に歯や口腔の健康に関する心配ごとを相談できる場とする。5回のうち1回を障がいのある方、特別な配慮が必要な方を対象とし、予約制で実施する。事業所に対し、チラシを配布し、利用を呼びかける。	年5回	利用者13人でそのうち8人は障がいのある方の相談日の参加者であった。 障がいのある方の相談日には、本人だけでなく、家族や支援者からの相談もあった。 参加人数が0人の回もあった。	参加人数が減少傾向にある。実施回数や周知方法について検討が必要。	健康推進課

令和4年度（2022年度）歯科保健に関する事業報告

<p>歯周病検診（口腔健診）</p>	<p>20歳から80歳を対象とし、集団または個別で歯周病検診を行う。受診率の向上を目指し、引き続き、20歳・30歳・40歳・50歳・60歳の節目年齢の方に対し無料クーポンを配布する。未受診者に対する受診勧奨も行う。歯科医院への定期受診のきっかけとしてもらう。 今年度から妊婦とそのパートナーに対して、母子健康手帳交付の際に、無料クーポンを配布し、妊婦の歯周病予防や青年期の歯科健診の受診につなげる。 高柳歯科診療所及び歯科休日急患診療所における歯周病検診の実施。</p>	<p>集 団 年 10 回 個 別 4 月 ～ 3 月 随 時</p>	<p>今年度から母子健康手帳交付時に、妊婦とパートナーへも無料クーポンを配布している。青年期の歯科受診のきっかけとなっている。引き続き、節目年齢の方に対し、無料クーポンを送付した。無料クーポンの送付により、20歳30歳の受診者が増え、効果が見られた。10月末には無料クーポンの対象者で未受診の方（2,405人）、70歳76歳80歳の申込者で未受診の方（16人）に対し、受診勧奨を送付した。</p>	<p>受診者は増加傾向にあるが、青年期の受診者はまだ少ないことから、今後も様々な機会を通じて、受診の必要性を伝えていく。 節目年齢及び妊婦とそのパートナーへの無料クーポンは継続する。</p>	<p>健康推進課 国保医療課</p>
<p>障がいのある方の訪問 歯科相談</p>	<p>年度初めには、関係施設に案内のチラシを送付。個別の相談に応じることで、受診へのサポートを行う。</p>	<p>随時</p>	<p>2件の申し込みがあり、対応した。2件とも歯科受診へつなげることができた。</p>	<p>多くの施設から事業を知ってもらう必要がある。</p>	<p>健康推進課</p>
<p>歯科保健計画の推進</p>	<p>庁内連絡会議、歯科保健推進会議を年1回行い、進捗管理を行う。歯科保健に関する課題について、御意見をいただき取組に活かしていく。</p>	<p>随時</p>	<p>10月5日に歯科保健推進会議を開催した。会議の中でいただいたご意見をもとに、歯周病検診の申込者を増やす取組として、各種健診申し込みの時期に併せ、広報かしわざきやビジネス情報便にて、申込方法の周知を行った。</p>	<p>推進会議でいただいた御意見を各課で共有し、事業に反映させながら、取組を推進していく。</p>	<p>健康推進課</p>

令和4年度（2022年度）歯科保健に関する事業報告

<p>歯や口の健康に関する情報発信</p>	<p>広報かしわざきや市のホームページに歯や口の健康に関する情報を掲載する。</p>	<p>随時</p>	<p>6月号で定期的な歯科健診を進める特集記事を歯の健康展と併せて掲載した。 ホームページに、歯周病検診や歯の健康展について掲載した。</p>	<p>歯や口の健康づくりに関して啓発の場が少ないことから、今後も広報かしわざきやホームページを活用して情報提供していく。 園の保護者を対象に、保護者のお口の健康づくりに関する啓発チラシの配布を検討する。</p>	<p>健康推進課</p>
<p>糖尿病予防教室</p>	<p>糖尿病と歯周病の関係を説明し、糖尿病の予防段階から、口腔内の健康に関心を持っていただくきっかけの場とする。</p>	<p>年1回</p>	<p>歯周病セルフチェックを行い、自身の口腔内への関心を高め、定期的な歯科健診のため、歯周病検診について周知した。</p>	<p>歯周病予防の講話を継続して取り入れる。</p>	<p>健康推進課</p>
<p>地区健康教育</p>	<p>各団体、組織からの依頼により、歯や口の健康づくり、特に定期歯科健診の重要性を伝える。また、お口の体操の効果を啓発する。歯周病検診（口腔健診）のPRも行う。</p>	<p>随時</p>	<p>障害福祉施設やサロンなど、計4か所で依頼による健康教育を行った。いずれも定期的な歯科健診の重要性を伝えた。</p>	<p>地域でお口の健康づくりについて取り上げてもらえるよう取り組んでいく。</p>	<p>健康推進課</p>
<p>からだスッキリ講座</p>	<p>企業向けの出前講座。食事や運動などの生活習慣病と併せて、口腔の健康づくりを啓発する。企業向けであり、若い世代への啓発の場として期待できる。</p>	<p>随時</p>	<p>1事業所で歯科に関する内容を取り上げ実施した。</p>	<p>広く活用していただけるよう、継続して周知を行っていく。</p>	<p>健康推進課</p>
<p>障がい福祉事業所に対する啓発</p>	<p>相談支援専門員等に歯科保健に関する事業の周知啓発を行い、活用を推進する。</p>		<p>令和4年度、講師として歯科衛生士の派遣を希望する事業所について、歯科保健講話を行った。 また「かかりつけ歯科医を受診する利用者が増えた」と感じている事業所もあり、歯科保健への意識が高まりつつある。</p>	<p>歯科保健に関する意識の高い事業所と、そうでない事業所の差が生まれつつあるため、今後も、相談支援専門員等を介して、普及啓発を行っていく。</p>	<p>福祉課</p>

令和4年度（2022年度）歯科保健に関する事業報告

★高齢期（65歳以上）					
取組名（事業名）	内容（今年度の取組予定）		取組報告	今後の課題	担当課
介護予防趣旨普及事業	介護予防事業を通じて、介護予防の意義や知識について広く周知し、必要性を理解して介護予防に取り組むことが重要であることを普及啓発する。 ・健康教育、健康相談 ・口腔・栄養講座（おいしく食べて歯ッピー教室）：コツコツ貯筋体操の新規会場のみ実施 ・訪問型個別指導 ・からだ年齢測定会、ミニ測定会年4回	随時	口腔・栄養講座（おいしく食べて歯ッピー教室）2回、参加者数22人 からだ年齢測定会4回、参加者数300人	新規に開始となるコツコツ貯筋体操会場の減少に伴い、普及啓発の機会も減少している。 からだ年齢測定会は、コツコツ貯筋体操センター利用者の参加が多く、新規者の参加が少ない。	介護高齢課 健康推進課
地域活動支援事業（コツコツ貯筋体操）	体操を通じて介護予防への意識づくりや支え合う地域づくりを行う。 コツコツ貯筋体操と合わせてお口の体操を実施する。	随時	コツコツ貯筋体操の会場やくらしのサポートセンターで、ストレッチやセラバンド体操とともに、お口の体操も併せて実施した。 高齢者運動サポーター養成研修において、27名に口腔に関する講演を実施した。	参加者の高齢化やコロナの影響も残り、コツコツ貯筋体操の参加者数が減少傾向となっている。 オーラルフレイルの周知についても検討していく。	介護高齢課
ケアマネジャー支援	介護支援専門員連絡会等において、歯科医院一覧（障がい版）や訪問型個別指導等の歯科保健に関する周知や情報提供を行う。		介護支援専門員連絡会において、柏崎市歯科医師会及び柏崎市在宅歯科医療連携室による「訪問歯科診療の進め方と無料訪問歯科検診の変更点」の説明を行い、29事業所に周知した。 歯科医院の一覧（障がい版）や訪問型個別指導等の歯科保健に関する情報提供を実施した。	介護支援専門員等の関係職種に対し、訪問歯科診療や歯科保健に関する情報を繰り返し周知し、高齢者の状態に応じた支援に繋げていく必要がある。	介護高齢課
地域ケア個別会議「介護予防」	地域ケア個別会議「介護予防」において、介護支援専門員等に対し専門職（歯科衛生士）の視点を踏まえた自立支援・重度化防止に資する具体策を検討する。	年7回	地域ケア個別会議「介護予防」7回（事例検討14件）、参加者数98人。	高齢者の自立支援・重度化防止のため、多職種協働による取組を推進していく必要がある。	介護高齢課